

核戦争防止

兵庫医師の声

第101号 2018年7月号

発行 核戦争を防止する
兵庫県医師の会

〒650-0024
神戸市中央区海岸通1-2-31
神戸フコク生命海岸通ビル
5F 兵庫県保険医協会内

電話 078 (393) 1807
振替 01130-6-57830

原発をなくす全国連絡会が東京で集会

原発ゼロの実現を全ての政党へよびかけ

東日本大震災、東京電力福島第一原発事故から7年を迎え、「原発をなくす全国連絡会」は3月4日、「原発ゼロの未来へ 福島とともに全国集会」を東京・日比谷野外音楽堂で開催し、3000人が集まった。反核医師の会から川西敏雄運営委員が参加した。同連絡会には保団連も加盟、兵庫県保険医協会も活動に協力している。



日比谷野音を埋め尽くす3000人の参加者

「原発ゼロ・自然エネルギー推進連盟（原自連）」会長で、城南信用金庫顧問でもある吉原毅氏がメインスピーチ。原自連が今年1月に提案した、「原発ゼロ・自然エネルギー基本法案」について、「原発がなくなっても市民も企業も困らない。困るのは原発に固執する一部の勢力だけであり、原発ゼロをめざすすべての政党と協力して法案の成立を実現したい」と語った。

福島の被災地からも100人を超える参加者

が集まり、集会で発言。事故から7年が経過するが、復興にはほど遠い現状をそれぞれ語った。

国会議員も集会に駆けつけ、日本共産党の志位和夫委員長が連帯のあいさつを行なった。自由党の山本太郎共同代表からメッセージが寄せられた。

集会後、参加者は銀座までパレードを行い、市民に原発のない日本を作ろうと訴えた。

ノーモア・ヒバクシャ訴訟にご協力を！

「国は判決受け入れ、全面解決はかれ！」

ノーモア・ヒバクシャ訴訟は、今年1月16日の大阪高裁（控訴審）で、3名については控訴棄却の不当判決（他の3名は地裁勝訴が確定）が出され、最高裁に上告して闘っている。

1月23日の大阪地裁判決は、放射線起因性を明確に認定して、国の主張をしりぞけ勝訴。国は控訴を見送り判決が確定した。つづく3月7日、名古屋高裁（控訴審）でも敗訴判決を批判し、これを認める逆転勝訴を勝ち取った。（国は不当にも一人を上告）。さらに、3月27日の東京高裁では、国側が5人もの医師・専門家を証人に立て執拗に争ったが、6人の原告全員、国の控訴棄却・全員勝訴の判決が言い渡された。判決は、「申請疾病が発症する過程において、放射線被曝と他の原因との共同関係があっても、放射線によって申請疾病の発症が促進されたと認められる場合には、放射線の影響がなくても申請疾病が発症していたといえるような特段の事情がない限り放射線起因性を肯定するのが相

当である」として国の主張を退けたのである。さらに国が積極認定対象疾病とせず、放射線起因性を争った脳梗塞・バセドウ病についても、国の主張を完全に排斥し放射線起因性を肯定した完全勝利だった。国は、裁判をしなくても解決するとの「確認書」の立場で原爆症認定問題を抜本的に解決するべきである。

5月10日の大阪地裁公判には、郷地秀夫反核医師の会代表（東神戸診療所長）が証人として法廷に立った。

国は、あくまでも原爆症認定数を抑えようと、専門家の意見書提出と証人申請を求め、申請疾病を放射線以外の「他原因」とする論証などを試みて抵抗しており、高齢で重い病気の被爆者（原告）に過重な負担を強いる不当で非人間的な裁判を続けている。これからの裁判でも、国のかたくなな態度にきびしく反撃するためにも、これからの裁判傍聴に全力をあげよう。

ぜひ、裁判の傍聴にご参加ください。

15分ほど前に傍聴席を開場します。裁判所は、入場前に手荷物検査がありますので早目にお越しください。裁判所は、中之島公園北・大阪市役所北東です。

【今後の大阪地裁での公判予定】

月 日	時 間	法 廷	裁 判 種 類
7月31日（火）	13時10分～	地裁806号法廷	新・却下取消し16・17
8月27日（月）	15時～	地裁1007号法廷	新・却下取消し13・18・20・23次
9月27日（木）	13時半～	地裁806号法廷	新・却下取消し21次、結審

詳細は、原爆症裁判支援ネット・兵庫（電話078-341-2818）まで

福島原発事故・避難者を対象に健康診断

いまだ残る健康不安



避難者の診察をする辻一城先生

福島第一原発事故による県内への避難者を対象とした健康診断が、2月25日に東灘区の東神戸病院で実施され、福島県などから避難してきた10家族24人（内、小児11人）が受診した。反核医師の会からは森岡芳雄・辻一城両先生が参加し、小児科の診察を行うとともに、原発事故からの長期間にわたる避難による健康への不安や悩みについても聞き取った。

この健診は民医連が、避難者に寄り添い、そ

の健康管理に寄与しようと、半年に一度、実施しているもので、今回で10回目を迎える。民医連からの協力要請を受け、反核医師の会の会員が毎回、診察に参加している。

会場ではレクリエーションコーナーを設ける、小児科健診をスタンプラリー形式にする、避難生活での困りごとなどを弁護士に相談できるコーナーを設けるなどの工夫がされた。

健診内容は、問診、身体計測、診察、血液検査、心電図、検尿、甲状腺エコー。3月上旬頃に結果を送付し、4月上旬には結果相談会が予定されている。

終了後のスタッフの感想交流では、「震災から7年が経過し健康診断の受診者が減少しているが、自主避難の問題がある以上、これからも続けていきたい」「原発事故によって家族がバラバラになったことが、子どもの成長に影響しないように周囲からの見守りが大切だ」「原発事故後に出生した子どもの受診もあり、被ばくに対する親御さんの不安な気持ちをうかがい知れた」などの声が出された。

ぜひ、ご参加ください！（案内詳細は、7面）

市民公開講演会

7/22(日)14:00～

兵庫県農業会館大ホール

講師：古賀 誠 氏

主催：兵庫県保険医協会

憲法9条は 世界遺産

“保守本流”古賀 誠さんが語る
不戦と平和の誓い



関西電力神戸支社前行動 300 回

原発ゼロ求め250人集結

2012 年7月6日から毎週金曜日、関西電力神戸支社前で市民が原発ゼロを訴えている「関西電力神戸支社前行動」。300 回目を迎えた3月30日に、記念企画「第三百夜」が開催され、市民250 人が参加した。原発をなくし自然エネルギーを推進する兵庫の会など複数の団体が主催。反核医師の会の住友直幹先生が同行動に6年前からほぼ毎週参加している。

関西電力神戸支社前でのアピールでは、参加者が「原発ゼロ・再生可能エネルギーの普及を求める市民の運動は、昨年12月の広島高裁での伊方原発の再稼働を差し止める仮処分決定や、野党4党が衆議院に提出した『原発ゼロ基本法案』に結実している。原発に頼らない社会をめざし、皆で声を上げ続けよう」と訴えた。

その後、参加者は「原発いらない」「大飯原発再稼働反対!」「すべての原発今すぐ廃炉」など



替え歌を披露する住友先生（左端）

を訴えながら、三宮センター街をデモした。

三宮マルイ前の集会では、300 回を振り返る動画を鑑賞後、参加者それぞれが原発ゼロに向けての思いをスピーチ。最後に住友先生が関電神戸支社前抗議行動で生まれた「戦争を知らない子供たち」の替え歌を披露し、原発ゼロを訴え、大きな注目を集めた。

○保団連原発問題学習交流会 参加記

福島に寄り添い、原発ゼロ実現へ

運営委員 川西 敏雄（北区）

保団連は4月22日、東京都内で第7回目となる原発問題学習交流会を開催した。全国の医師・歯科医師ら58人が参加し、反核医師の会から加藤擁一・川西敏雄両運営委員、森岡芳雄先生が参加した。「生業（なりわい）を返せ、地域を返せ!」福島原発訴訟弁護団事務局長の馬奈木巖太郎弁護士が記念講演を行った。川西運営委員の参加記を紹介する。

記念講演では、馬奈木弁護士が、原発事故から7年が経過し、国と東京電力の責任が忘れられつつあると語られました。生業訴訟の目的に

ついて「原発事故の被害にあったすべての方が、原発事故が起こる前ではなく、原発ができる前

[次ページへ続く](#)

前ページから続く

の生活を取り戻すこと、そのための制度を作ることだ。直接原発事故を起こした東電に加え、原発事業を推進し監督してきた国にも、しっかりとした被害回復・賠償への制度作りを求めている」と話されました。また、原告以外にも多くの被害者がおり、その方々や次の世代のために裁判を行っている」と説明されました。

また馬奈木氏は、「今回の事故で福島県のみならず日本の広範囲が放射能汚染された。厳密に規制すると本来なら居住できない地域に人が生活している」と話されました。確かに、年間放射線被爆量の限度について、ICRPの基準は1mSvですが、福島の放射線作業従事者の線量限度は100mSv、一般の限度も20mSvでこの数値は改善しなくてはいけないと思います。

原発の安全性について、「再度の過酷事故があれば取り返しのつかないこととなる。国にとって電気の供給は大切だが、原発を利用するのは危険すぎる。いろいろな真実を知った以上知らないふりはできない」と断言されたことが印象に残っています。

午後からは全国の保険医協会から活動報告があり、福島協会の松本純先生が、現地医師の視点から、事故直後から現在に至るまでの経験や現状、今後の課題などを報告されました。松本先生が、「福島の痛恨の経験は無駄にたくありません。福島第二原発を含めて福島県内すべての原発の廃炉と自然エネルギーへの転換はオール福島の願いです」と強調されました。原発事故を風化させず、福島に寄り添い、運動を続けていく必要があると強く感じました。

兵庫から森岡先生が活動報告をされました。



会場を埋め尽くす参加者

原発再稼働の動きに対する抗議声明や、関西電力神戸支社前での抗議行動、東日本大震災の被災地への訪問活動などが紹介されました。

最後に、原発に関わる情勢ですが、青森県の六ヶ所再処理工場に230 m³、茨城県の東海再処理工場に430 m³もの高レベル放射性廃液が貯蔵されています。高レベル放射性廃液1 m³が核崩壊熱による沸騰事故を起こすと、日本の広域が非常に高濃度に汚染されることになります。各地の原発には、使用済み核燃料も1万7千トンもあり、処理の用途は立っていない上に原発再稼働が始まっているのは許せません。

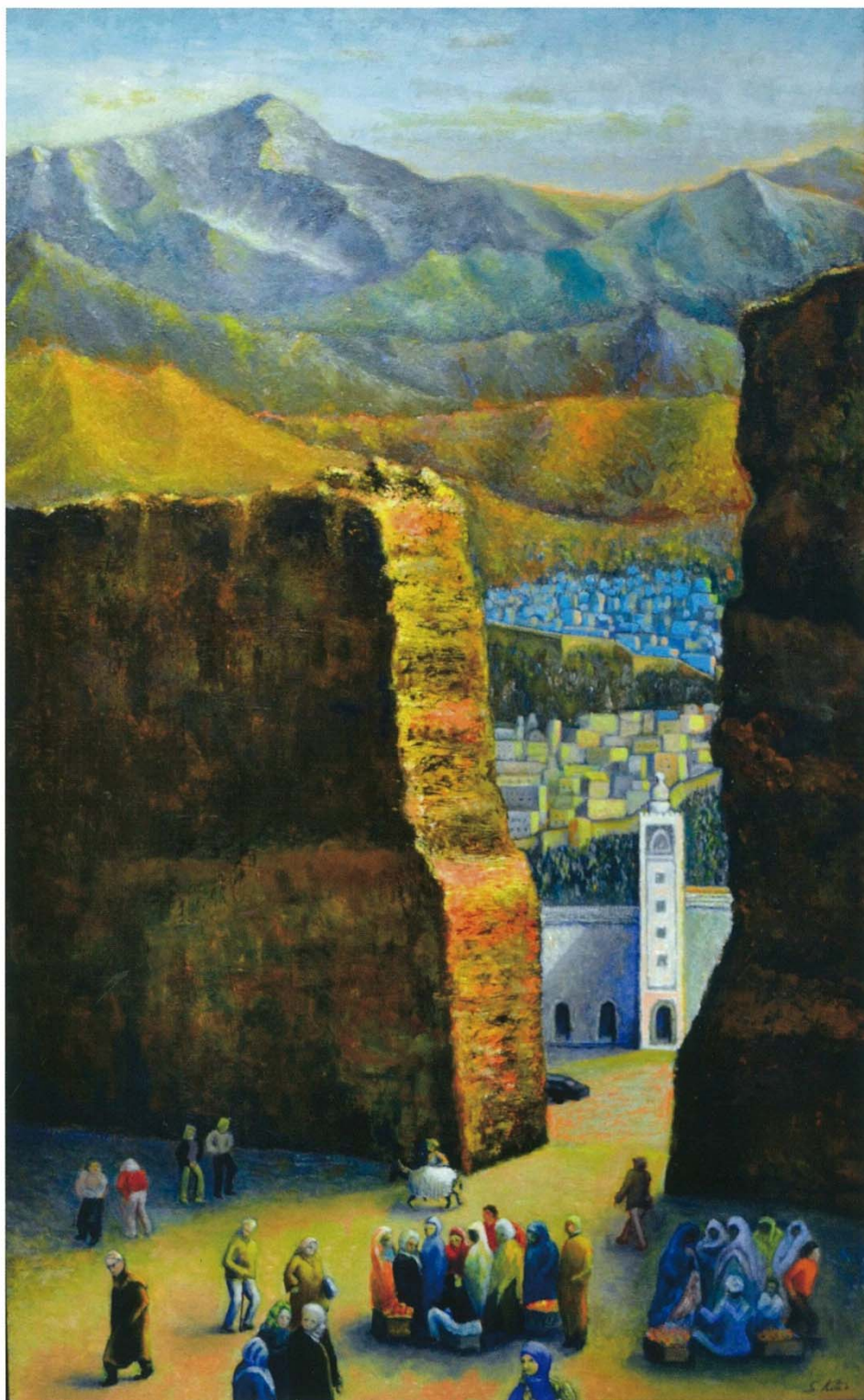
また、日本政府・企業が進めてきたトルコへの原子力発電所の輸出について、総事業費が当初の2・1超円から5兆円超に膨らんだことが分かりました。これには廃炉費用などは含まれておらず、新規原発は採算が取れないことは確かです。

スイスでは2017年に国民投票で脱原発を決定しました。原発事故を起こした日本こそ原発ゼロを決定すべきです。

引き続き、「ヒバクシャ国際署名」
「安倍9条改憲NO! 憲法を生かす全国統一署名」
2つの署名にご協力を!

同封の受払返信封筒でご投稿ください。





油彩 ある日の風景 (モロッコ) 北尾 進



作品募集

出品料 1点2000円
30歳未満は無料

主催 兵庫県平和美術協会

後援 神戸市・神戸市教育委員会



第51回

平和の壁に花一輪を
兵庫県平和美術展

入場無料

7月18日(水)～22日(日)

10時～18時 (最終日は17時まで)

兵庫県民アートギャラリー

(JR元町駅北へ 県民会館2F)

憲法9条は 世界遺産

“保守本流”古賀 誠さんが語る
不戦と平和の誓い

太平洋戦争で実父がフィリピン・レイテ島で戦死し、焼け野原から苦学して政治家を目指された古賀誠さんは、自民党の宏池会会長、日本遺族会会長をながく務められ、戦争を知る世代として現在の日本の動きには強い危機感を持たれ発言をされています。

「戦争を引き起こした最大の原因は『政治の貧困』、『平和主義』『主権在民』『基本的人権の尊重』という崇高な精神は尊重しなければならない」と訴えている古賀さんに、平和憲法への思いをご講演いただきます。

2018年

7/22日

14:00～16:00
(13:30開場)

参加費 500円

兵庫県農業会館11階大ホール

定員
400名

講師

元自由民主党幹事長

古賀 誠 先生

主催

兵庫県保険医協会

対象

医療関係者、一般市民

第37回反核医師の会 総会も開催します！

総会議事 7月22日(日) 13:00～ 会場：兵庫県保険医協会会議室

☐ 参加します

市民公開講演会「憲法9条は世界遺産」14:00～ 会場：兵庫県農業会館大ホール

☐ 参加します

懇親会 16:30～ 会場：ニューミュンヘン倶楽部神戸元町店

☐ 参加します

お名前

電話 / FAX

医療機関

お申し込みは兵庫県保険医協会まで
参加ご希望の方は FAX にて事前申し込みをお願いいたします。

FAX.078-393-1820



8月4日
広島到着

(岡山へ引きつぎ)

岡山県境 (瀬川/吹上)
JR天和駅 12:15
約 10 km

赤穂市役所 9:00 発
約 30 km

相生市役所 13:00~14:00
約 20 km

山電飾磨駅北 9:00 発
約 25 km

山電飾磨駅南 17:00 発
約 25 km

山電西見児童公園 10:15
約 25 km

網干市民センター 12:30~13:30
約 25 km

太子町役場 15:10
約 25 km

たつの市役所 17:30
約 25 km

日新宮町・白井商店前 18:00
約 25 km

本竜野駅前 JR(姫路線) 9:00 発
約 25 km

1歩でも2歩でも いっしょに歩きましょう

2018 年

**平和行進開始60年~被爆者の願い
核兵器のない世界をめざし**

憲法9条の改悪ノー！日本政府は核兵器禁止条約に調印を！

7月7日(土)10時半
川西市役所前広場
ピース・ウェーブ2018
(Peace Wave 2018)
(核兵器禁止条約採択一周年)
被爆証言、平和の歌など。

核兵器禁止条約を力
に、北東アジアの非核
化、戦争しない日本を

◎ 平和行進は一九五八年に始まり、思想信条の違いを越え核兵器廃絶を訴え全国の市町村を結び八千以上を行進します。国連や世界の代表が広島・長崎に集まる八月の原水爆禁止世界大会の成功めざし、雨の日も炎天下でも休むことなく歩きつづけ訴えます。

◎ 安倍首相は、憲法9条を変え改憲をがむしゃらに進めようとしています。すでに、日本が戦争できる法律(戦争法)、自由を圧迫する秘密保護法、共謀罪法などが強行成立されました。他方、北朝鮮問題を対話・外交で解決する努力が強まっています。昨年、非核兵器宣言も実現しました。日本政府は、核兵器禁止条約に調印し、北東アジアの非核化、核兵器のない世界と非核の日本を実現する先頭に立つべきではないでしょうか。

(大阪より引きつぎ)

5月6日
東京出発

第一回平和行進・神戸市内

川西市役所 12:00~13:00
宝塚あいあいパーク前公園 15:00
約 10 km

宝塚市役所 9:30 発
伊丹市スポーツセンター前 10:45
約 20 km

伊丹市役所 12:00~12:40
塚口長瀬公園 14:30
約 20 km

尼崎市役所 16:30
阪神尼崎駅前 17:30
約 25 km

尼崎市役所 9:30 発
武庫川橋下 10:30
西宮市役所 12:30~13:30
芦屋市役所 14:30
約 25 km

東灘区役所 16:30
石屋川公園 9:00 発
王子公園 10:00
神戸市役所 11:40~12:30
県庁前 13:20
兵庫区役所 14:20
長田区役所 15:10
須磨区役所 17:00
みどり公園 9:00 発
垂水区役所 10:00
舞子公園 11:00
明石市役所 12:30~13:30
八木遺跡公園 15:30
江井ヶ島市場前 16:20
住吉神社前 17:00
一見市民センター 9:30 発
播磨町役場 10:15
加古川市役所 13:00~14:00
高砂支所 16:00
高砂市役所 9:30 発
山電大塚駅前 11:00~12:00
姫路市役所 15:30
大塚公園 17:00
伊豆山公園 17:00

行進通過上は時間
が経過される場合は
ありますので事前に
お問い合わせ下さい。

ウラ面の署名用紙を
行進団が実行委員会
にお届けください。

被爆七三年たち高齢
化する被爆者を支援
する資金にもご協力
ください。

神戸市中央区元町通 6-7-6 茶本ビル 5 階
(兵庫県原水協内)

TEL 078-341-2818
FAX 078-371-2427

Eメール
hikakukobe@yahoo.co.jp

国民平和と大行進兵庫実行委員会